95.2.20　4145

# 「阪神大震災」を労働者の側から見定めよう

一月一七日に発生した「阪神大震災」では、五千人を超える人々が死亡し、現在も二〇万人余りが避難を余儀なくされ、一〇〇万人が被災するという未曽有の大事件となったが、われわれは、今回の「阪神大震災」を単なる「自然災害」としてかたづけてしまうことはできない。

確かに地震は、自然現象として全ての人を平等に襲った。しかし、実際に被災者・犠牲者となったのは、ほとんどが低所得労働者やその家族だったことを見逃してはならない。犠牲者の数を見ても、神戸・阪神間の被害は市街地に集中し、多くは古い木造住宅、中小零細企業が密集する労働者の街であり、被差別部落であり、さらに、多数の在日朝鮮人・中国人、沖縄出身者などが生活する地域が崩壊、炎上、壊滅したのである。

## 独占資本優先政策が労働者への被害を加速

これだけの大きな被害がでた根本的な理由は、資本の利益のために、太平洋ベルト地帯、京阪神工業地帯に人口の半数近くを集中させ、超過密な都市構造をつくりあげた資本の政策に他ならないのである。

「神戸株式会社」といわれる神戸市が行ってきたことは、山を削り海を埋め立て、それを大資本に有利に売り渡し、一方では兵庫県南部に集中する老朽化した住宅はまったく放置され、これが被害の大半をもたらしたことは明らかである。

「災害復旧」にあたっても、県庁地域や商業地域が最優先され、労働者・市民が多数被災している地域は、焼け跡もそのまま放置されているという状況である。

また神戸市は、「震度六の直下型地震が起きる可能性がある」と専門家から指摘されていながら、「金がかかりすぎる」として、震度五を想定した「対策」しかとっていなかったことが明らかにされている。とくに、今回地震がもっとも激しく襲った低所得労働者の居住地域では、防災対策など全く考えられていなかったのである。しかも、地震後、国と神戸市が最初に行った対策は、警察・自衛隊をつかって銀行と行政施設を押え、自衛隊は、何と、地震直後からヘリコプターで「湾岸戦争型」のシュミレーション訓練を行なっていたのである。

われわれは、こうした事態を考えたときに、今回の被害はまさに人災であり、資本や支配階級の利益優先政策のために拡大された被害であると言わざるを得ないのである。

## 「阪神大震災」による歴史の転換攻撃許すな

今回の「阪神大震災」以降起きている事態は、「大正デモクラシー」と言われた自由闊達な雰囲気と労働者・農民の闘いの大きな高揚を一挙に覆す契機となった関東大震災後の状況と極似している。当時も経済的・政治的に大変な危機が迫る中で、日本帝国主義は生き残りをかけてアジアへの侵略戦争へのり出そうという動向にあったことなどを見るとき、「戦後五〇年」という歴史の節目に発生した「阪神大震災」は、関東大震災と同様の歴史の転換点になろうとしており、「阪神大震災」をめぐる一連の事態を、労働者の側からしっかりと見定めなければならない。

また、現在、新進党がその急先鋒となり、マスコミも含めてあおりたてているのが「危機管理体制」「有事体制」確立という問題である。言うまでもなく、「危機管理」「有事体制」とは、戦争を遂行する体制のことである。

## 寄せられた支援を今こそ返そう！

さらに、「阪神大震災」は、企業が被害を受けたことを口実とした賃金未払い、休業、解雇、採用内定取り消し等の攻撃が膨大な労働者を襲いはじめている。まさに、「阪神大震災」は、あらゆる意味で歴史の大きな転換点となろうとしているのである。

現在、現地では、これらの攻撃を跳ね返すために、物資カンパはもとより、医療相談、住宅相談、そして何よりも労働相談が緊急の重要性をもっている。すでに、関西労組交流センター、部落解放同盟全国連、労組交流センター傘下のTSD医療労組は、現地事務所を開設し、これらの活動に全力を上げている。そして、それらの活動には資金が必要となっている。

動労千葉は、二月一五日に開催した第三三回定期委員会において、「阪神大震災」が、時代や労働者にとってどのような意味をもつのかをはっきりとさせるとともに、労働者独自の救援活動を全力で支援する立場から、一月の緊急カンパに続き当面、義援金カンパ活動の継続を中心とした支援運動を継続することを決定した。

全ての組合員のみなさん！

救援活動は始まったばかりです。これまで動労千葉に寄せられた多くの支援を、今こそ返さなければなりません。

組合員一人ひとりの心からのカンパを集中し、「阪神大震災」を契機とする反動攻撃粉砕へともに起ち上がろう！

### 「阪神大震災」緊急義援金カンパの御礼

全ての組合員のみなさん！1月に実施した「阪神大震災」緊急義援金カンパにご協力いただき大変ありがとうございました。緊急義援金は、2月8日、全国労組交流センターを通じ、関西の仲間たちに届けることができました。なお、各支部から寄せられた義援金は次のとおりです。

| | |
|---|---|
| 新小岩支部 | 90，158円 |
| 津田沼支部 | 22，000円 |
| 幕　張支部 | 22，449円 |
| 千葉転支部 | 100，000円 |
| 総　武支部 | 24，000円 |
| 木更津支部 | 13，000円 |
| 館　山支部 | 66，000円 |
| 勝　浦支部 | 72，000円 |
| いすみ支部 | 14，000円 |
| 佐　倉支部 | 25，000円 |
| 銚　子支部 | 50，000円 |
| 本　　部 | 37，393円 |
| 合　　計 | 536，000円 |